

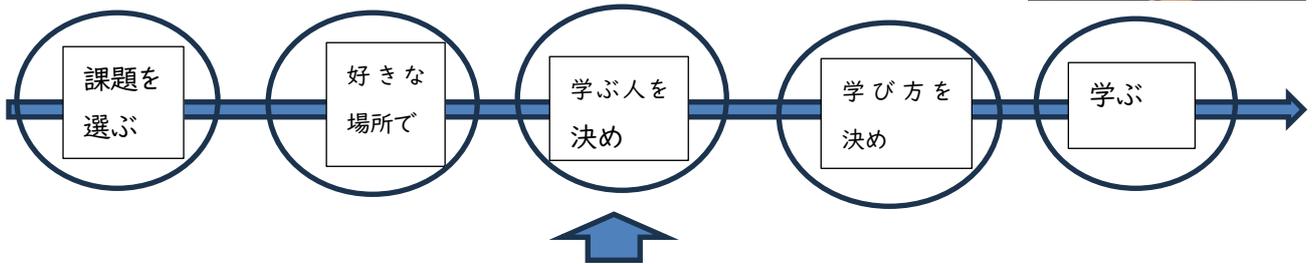
「授業備品」No.298 08.1.18 子どもたちに授業や評価を委ねる（高知県三原村授業づくり大会）

R 7.12.13に、高知県三原小・中学校での高知授業づくり研究会があった。それをまとめてみた。主体的な学びは同じだが、「個人（個別）学習・協力して学ぶ」ことをねらいにした。

- 1 学校って何？ 「分からないことをなかまに聞く場所」
- 2 学校の意義を子ども間で決める  
「子どもたちが先生を頼らず主体的に学び、安心して何でも取り組める学校」
- 3 主体性を改めて問う



- (1)子どもたちの学び方の基準を変える（教師は、子どもを信じ、学びを任せる）  
子どもが



これまでの授業（学校）  
教師が教材研究をし、学習課題を決め、しゃべり、まとめる。教師主体の授業。

- (2)子どもたちに学びを委ねる授業（三原大会の授業）

①授業で目指したこと

- ア 授業を進めるのは教師ではなく自分たちであるという意識
- イ 自分なりに問いを立て、課題をつくり学ぶ
- ウ 学習方法やペースを自分で選び決め学ぶ（三原小の社会）
- エ 同一学年から異学年と学ぶ（三原中の全校数学）
- オ 授業評価の数値化



自分の課題選択  
（三原小）



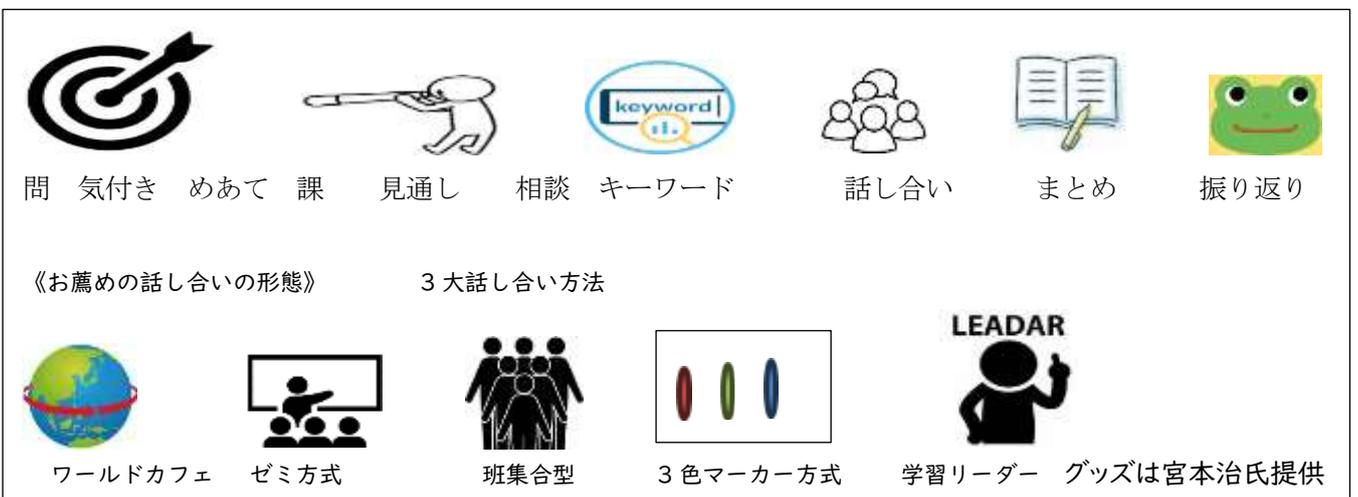
異学年で学ぶ  
（三原中）

4 学習過程（学習スタンダード）をピクトグラムで分かりやすくする

- (1)授業を変える方法

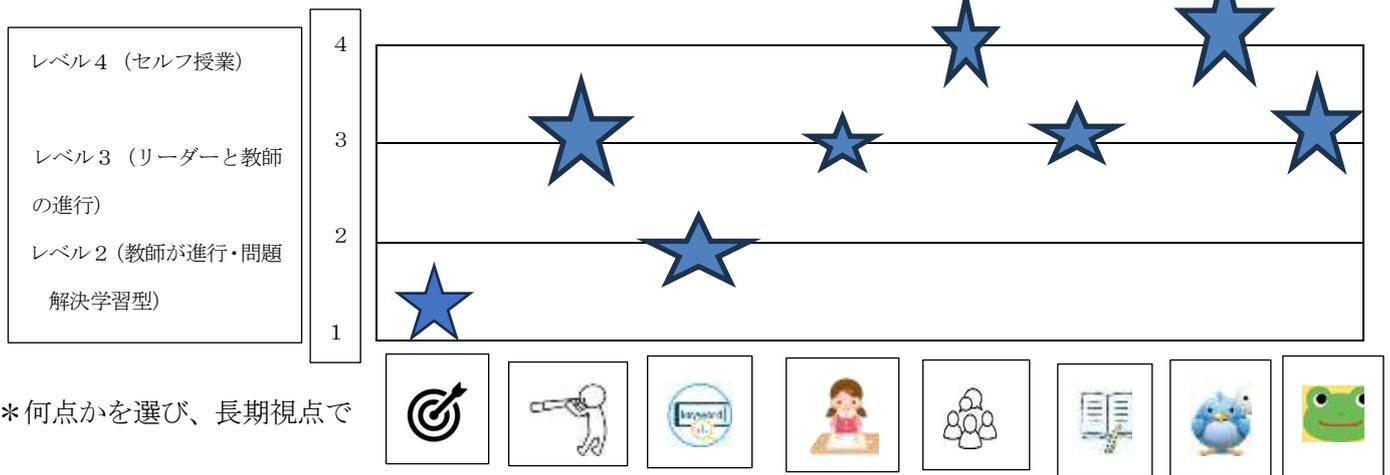
①問題解決学習過程を文字から「簡略と図式化」へ

課題→見通し→相談→自力→探る（班考察等）→話し合う→まとめ→振り返り



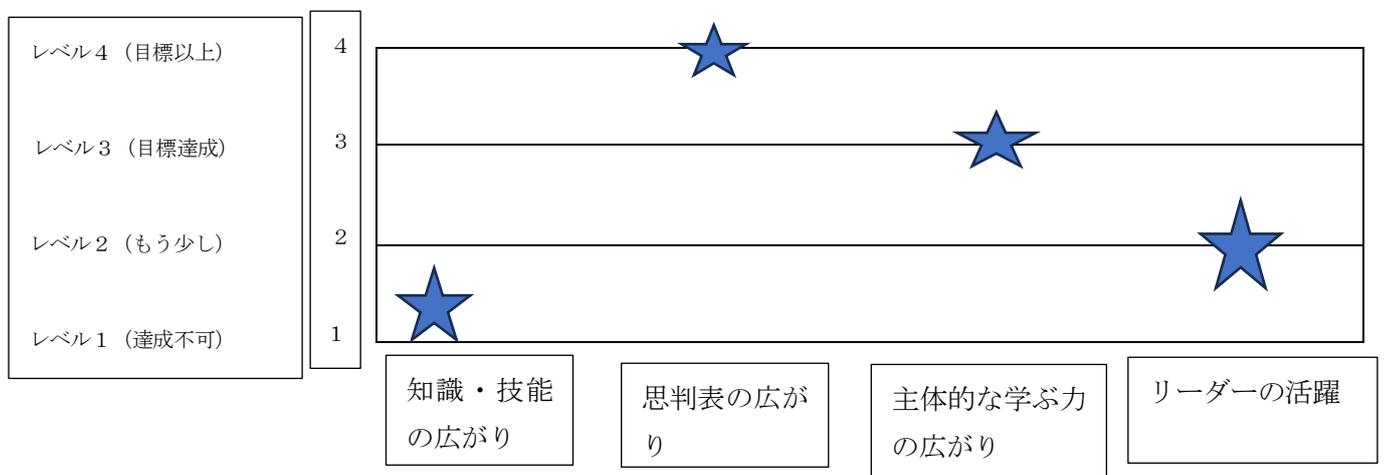
## 5 学習活動評価の可視化

### (1) 問題解決学習過程の評価（三原大会で実践）

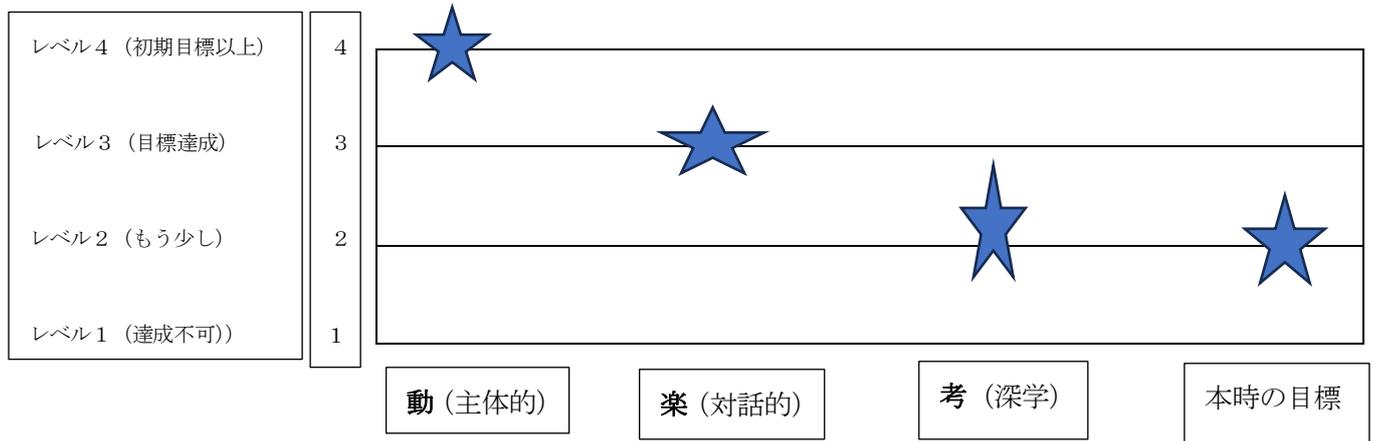


\*何点かを選び、長期視点で

### (2) 資質・能力の3つの柱に対応した学習評価



### (3) 学習指導要領3本柱の評価



### (4) 個別最適・協働的な学びにつなげる授業評価へ

自分で「目標（めあて）を決め、好きな場所で好きな仲間と好きな学習方法」で学ぶことを評価する。

#### 留意点

- ①まずは、問題解決的な学習過程の評価を行う。（教師主体の授業（一斉授業）を減らす）
- ②上記4視点の可視化評価の充実のために項目を混ぜ評価を行う。
- ③この見える評価の前に、個人内評価をする。（授業備品 294号、みがき度チェック）
- ④子どもの声を第一に考え、子どもと教師と一緒に評価を行う。（教師だけの評価は止める）
- ⑤教師間の評価は、付箋紙やタブレットを使い短時間で行う。



本時の学習活動案（レッスン・プラン） 令和7年12月13日(土) 第4校時 6学年M（三原小）

【目標】 産業や経済の発展を調べ、社会の様子や暮らしの変化を知る 【知・技】

【キーワード】 「テレビ」「洗濯機」「冷蔵庫」「電気製品」「三種の神器」「高度成長」「公害」

授業前のリーダー	・黒板に授業グッズを貼る ・黒板に「今日の課題」「キーワード」「まとめの書き出しを書く」 ・ワークシートやホワイトボードを配布する。
----------	--

流れアイコン	学 習 活 動	☆学習リーダー○支援
導 入	・前時の振り返りを（近く）で伝え合う。（1分） 	☆振り返りの指示 
 めあて	・提示された資料・本文・資料集から、 <b>気付いたこと</b> をペアで話し合い、その場で話す。	☆「課題」「流れ」「キーワード」の確認を進行する。
 見通し	・今日の課題を話し合い、2つ程度にしぼり、各自で選択をする。	☆「学習の流れ」を指示する。必要に応じて教師に相談する。
 キーワード	・今日の授業の流れをピクトグラムで確認する。	(*7分以内)
 自力	◇ <b>ちょこっと相談</b> （2～3人）をして、おおよその「解」を確認	☆自力で解決できない仲間のため、まず「ちょこっと相談」の時間を設ける。
 話し合い	◇それぞれの学び方で課題解決をする。個。（5分）	○解決の状態を確認し、個別指導を行う（机間指導）
 話し合い	◇同じめあてのグループで集まり考えを共有する。（3分）	☆いくつかの考えから共通することを見つけるよう指示をする。
 まとめ	・ゼミナール（1～3つの班が集合）で、 ホワイトボードを使って考察を行う。（10分） 	○必要に応じて、教師が修正する。
 振り返り	◇まとめた意見を全体で共有する。（5分） 	
 振り返り	◇ペアや班で疑問や意見を再度出し合い考えを確認する。（3分）	☆振り返りブツブツタイムの指示を行う。
授業後のリーダー	・板書を撮影し、消す。学習グッズや資料を片付ける。	○提出物の確認
	・次回のリーダーと教師の打ち合わせ日を決める。（資料・課題について話し合う。）	

《お薦めの話し合いの形態》

《学習リーダー》



ワールドカフェ

ゼミ方式

班集合型

3色マーカー

令和7年度 全学年数学科学習案 12月13日(土) 【授業者 S】(三原中)

単元名 1年:比例と反比例 2年:1次関数 3年:2乗に比例する関数

本時の目標(付けるべき力) 身のまわりの問題を、表、式、グラフを用いて調べ、考察することができる。

授業前のリーダー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒板に授業グッズを貼る</li> <li>・黒板に「今日の課題」「キーワード」「まとめの書き出し」を書く</li> <li>・ワークシートやホワイトボードを配布する。</li> </ul>
----------	--

流れアイコン	学習活動	生徒全員が活躍する姿
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の振り返りを(近く)で伝え合う。(1分)</li> </ul> 	☆振り返りの指示をする。
見通し めあて キーワード	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     課題:次の関係は、関数の関係か。また、関数なら、どんな関係か                 </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 提示された問題を読み確認</li> <li>2 これまでのまとめをペアで振り返り、<b>気付いたこと</b>を確認する</li> <li>3 めあてを把握する</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">                     めあて:<math>x</math>と<math>y</math>は関数の関係か、また、どんな関係であるか、式、表、グラフの特徴から考え説明しよう。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の授業の流れをピクトグラムで確認する。</li> <li>・今日のキーワードをペアで話し合う。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① ペアで自分の学年の既習事項を振り返る。</li> <li>② 全体で確認する。</li> <li>③ めあてを全体で読む。</li> </ol>
話し合い	<ol style="list-style-type: none"> <li>4 ちょこっと相談(2~3人)をして、おおよその「解」を確認</li> <li>5 ペア→カフェ(各班2分)→ペア *ペアでの時間設定は、生徒が行う</li> </ol> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>6 学び合い</li> </ol> <p>◇まとめた意見を全体で共有する。(5分)</p> <p>◇ペアや班で疑問や意見を再度出し合い確認する。(3分)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>④ペアでホワイトボード</li> <li>⑤カフェ</li> <li>⑥アドバイスから成果に近づける</li> <li>⑦ホワイトボードを出し、共通点を相違点を出し合う。</li> <li>⑧仲間分けをする</li> </ol> <p>○必要に応じて、教師が修正する。</p>
まとめ 振り返り	<p>まとめ:身近な事象には、多くの関係になるものがあり、それらの関係がどんな関係を式、グラフの特徴を用いて考えることが出来る。</p> <p>振り返り: ノートに振り返りを書く。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>⑨まとめを全体で確認。</li> <li>⑩振り返りのぶつぶつタイム</li> </ol> <p>*全員活躍の場10回以上</p>
授業後のリーダー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書を撮影し、消す。学習グッズや資料を片付ける。</li> <li>・次回のリーダーと教師の打ち合わせ(資料・課題について)</li> </ul>	○提出物の確認

《お薦めの話し合いの形態》

《学習リーダー》



グッズは宮本治氏提供